



2025年3月期 決算説明資料

2025年5月12日

株式会社ニッチツ

(東証スタンダード市場 証券コード7021)



25年3月期実績

営業利益270百万円

(前期比▲55百万円)

当期純利益241百万円

(前期比▲5百万円)

機械関連事業は好調に推移するも、資源関連事業(ハイシリカ部門)の採算悪化・赤字転落により、**営業利益は減益**

政策保有株式売却益の特別利益計上(130百万円)もあり

当期純利益は前期並みを確保

26年3月期予想

営業利益400百万円

(前期比+130百万円)

当期純利益200百万円

(前期比▲38万円)

資源関連事業については、半導体市場回復の遅れを見込む。機械関連事業の船用機器部門は堅調に推移する見込みであり、**営業利益は大幅増益となる400百万円を見込む**

当期純利益は200百万円の見通し

なお、政策保有株式売却益影響を除く実質ベースでは増益

株主還元

24年度年間配当35円

(前期比+5円)

25年度年間配当予想35円

・24年度株主還元実績

①株主還元方針の変更

配当性向30%⇒**総還元性向40%**

②年間配当予定35円

③自社株買い実施 15,000株

④株主優待制度の導入

・25年度配当予想

・中間配当予想17円/
年間配当予想35円

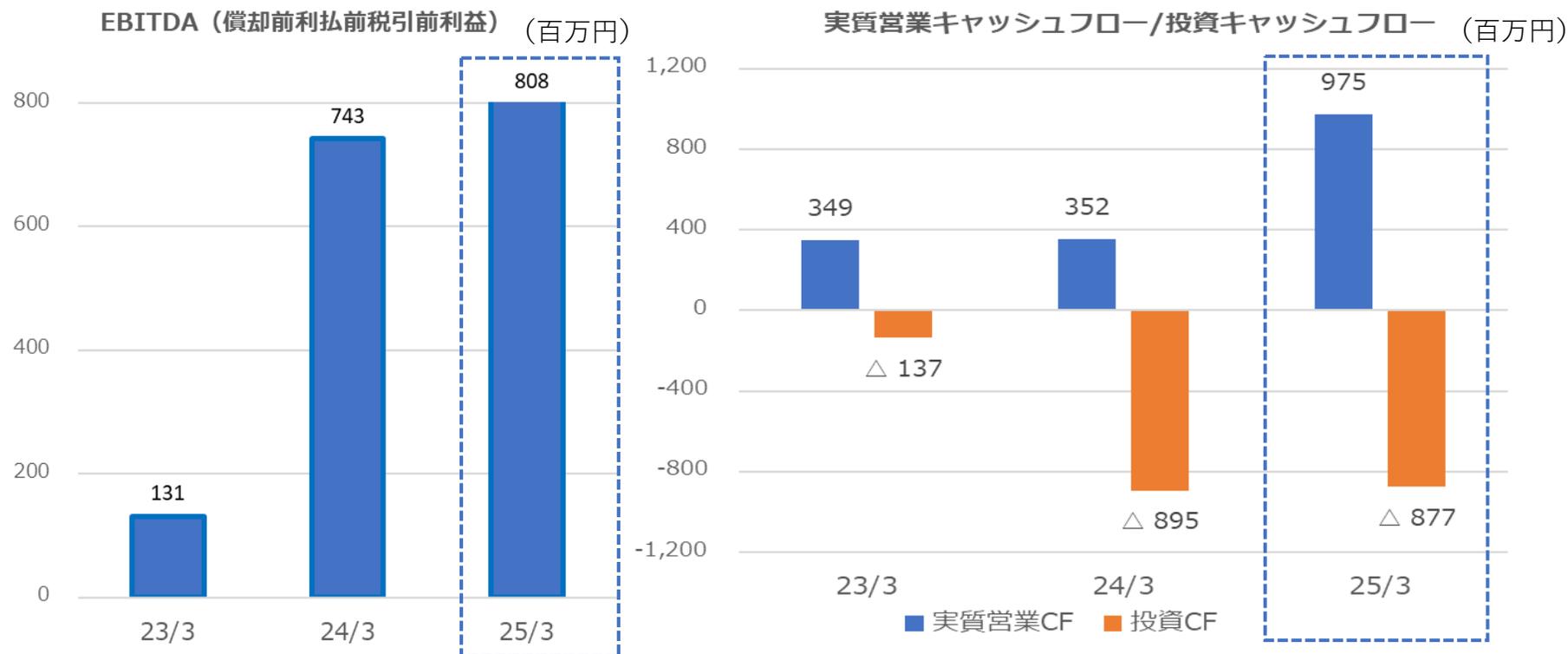
目次

- 2025年3月期 決算実績 … 3 p
 - ・ EBITDA及びキャッシュフローの状況 … 4 p
 - ・ セグメント別業績・概要 … 5 p
 - ・ 機械関連事業 … 6 p
 - ・ 資源関連事業 … 7 p
 - ・ 不動産関連事業・素材関連事業 … 8 p
- 2026年3月期 連結業績予想 … 9 p~10 p
- 中計経営計画「シン・ニッチツ2025」進捗状況 … 11p~15 p
- 資本コストや株価を意識した経営実現に向けた対応について … 16p~17 p
- 参考資料 … 19 p~23 p
 - ・ 会社概要 … 19 p~23 p

- 売上高**は資源関連事業が半導体市場の低迷長期化により減収となったが、好調な船用機器部門を中心に機械関連事業が増収となり、全体では**前期比+18.9%**
- 一方、**営業利益**は機械関連事業は好調に推移するも、資源関連事業の採算悪化・赤字転落により**前期比▲17.2%**
- 当期純利益**は政策保有株式売却益の特別利益計上もあり、**前期比▲2.3%**

(百万円)	24年3月期	25年3月期	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	8,286	9,850	1,563	18.9%
営業利益	325	270	△ 55	▲ 17.2%
経常利益	248	216	△ 32	▲ 13.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	247	241	△ 5	▲ 2.3%

- 2025/3期EBITDAは808百万円と前期(743百万円)から改善
- 2025/3期実質営業キャッシュフローは975百万円と、前期(352百万円)から大きく改善
- 2025/3期投資キャッシュフローは△877百万円。積極的な設備投資を継続



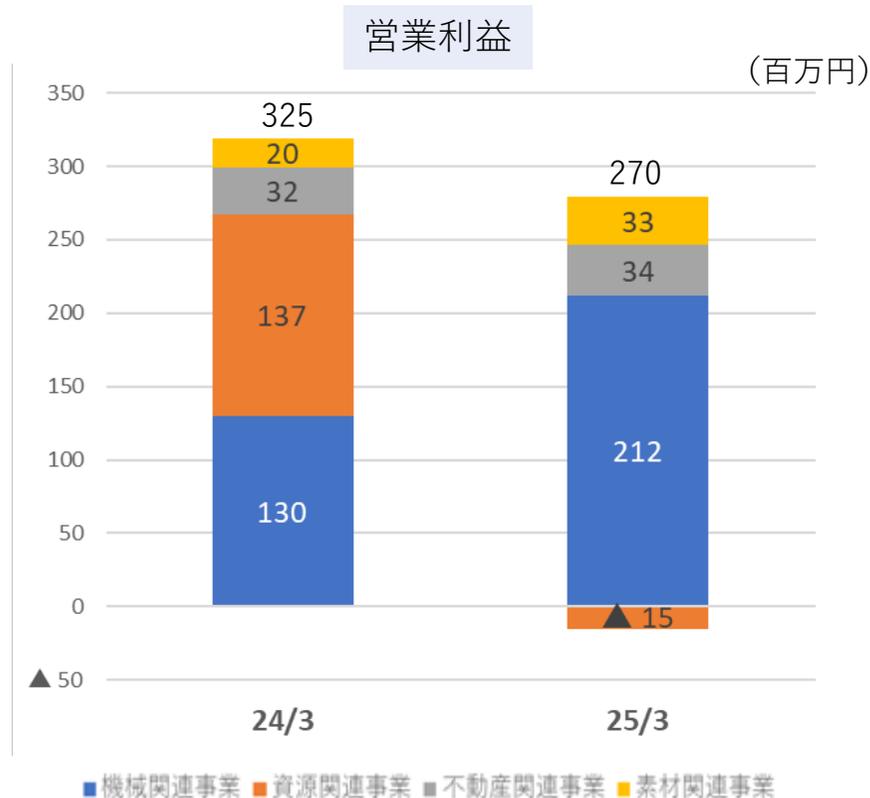
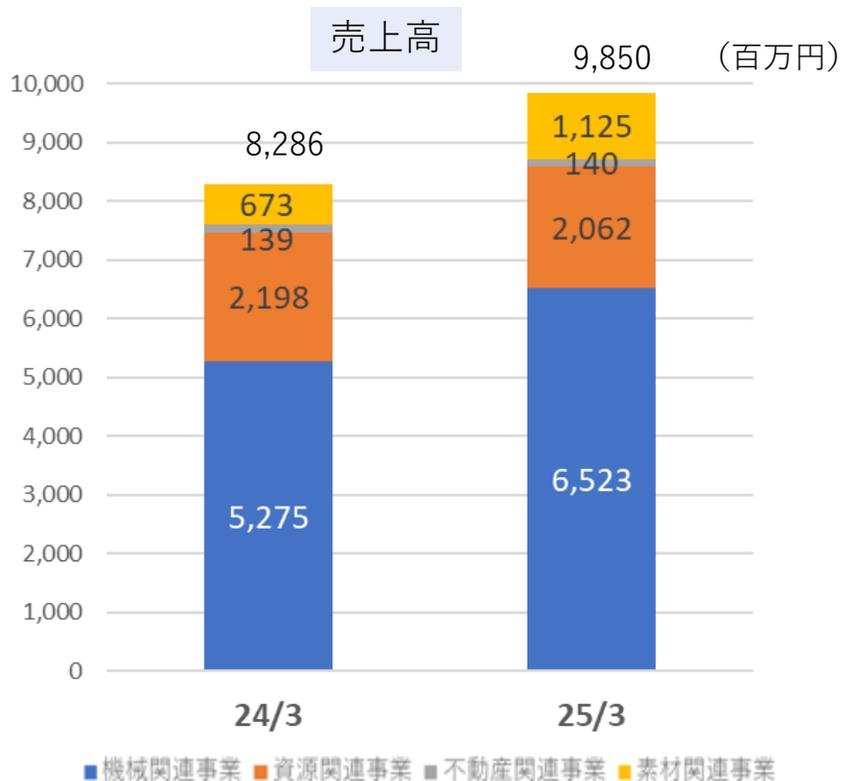
※実質営業CF = 営業CF - 運転資金増減 (売上債権・売掛金・棚卸資産・仕入債務)

○機械関連事業：船用機器の設計・製作、空気予熱器ほかの一般産業機械等の設計・製作、プラント関連機器の製作及び機械装置の据付・施工・監理

○資源関連事業：ハイシリカ(精製珪石粉等)の製造・仕入・販売

○不動産関連事業：オフィスビルの賃貸

○素材関連事業：耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売



○**船用機器部門** ハッチカバーが大幅に売上伸長、船殻ブロックも引き続き堅調推移

○**産業機器部門** 水力発電等電力関連及び空気予熱機部品を主体に売上増加

○**工事部門** 前期受注した大型工事の売上計上

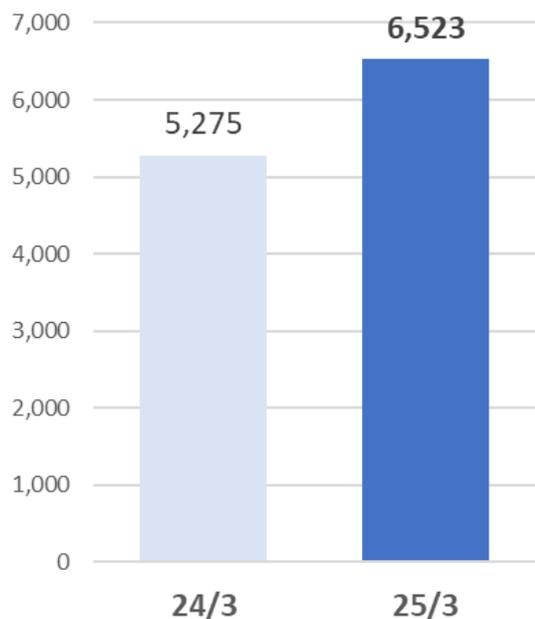
売上高 6,523百万円（前期比+23.7%）

営業利益 212百万円（前期比+63.4%）

○鋼材の自動加工ライン新設（25年5月稼働開始）

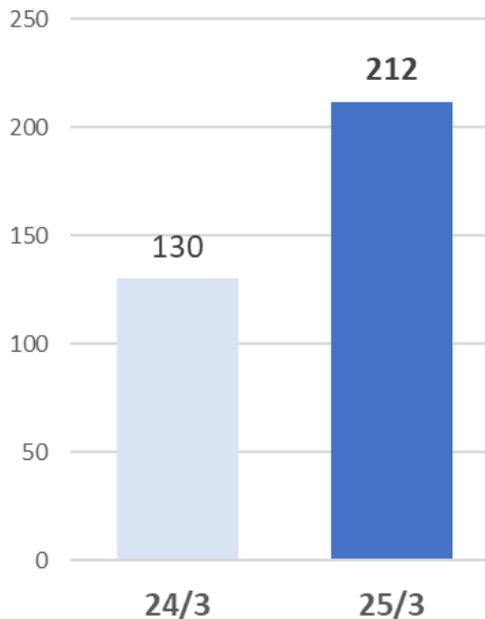
売上高

（百万円）

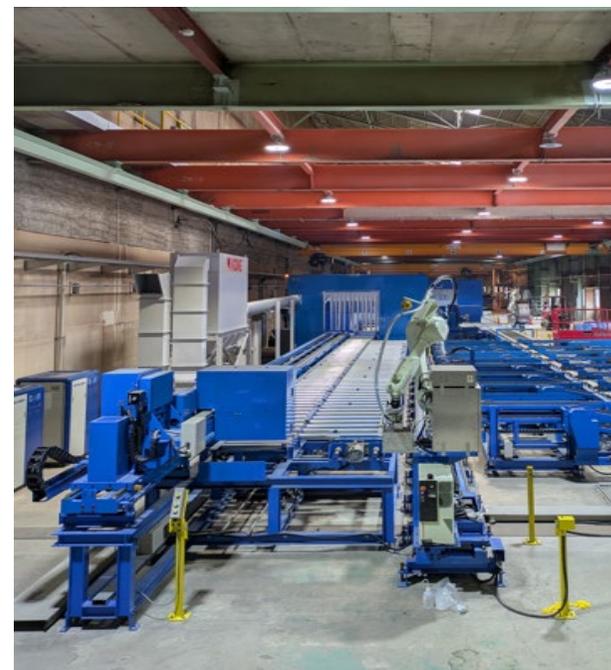


営業利益

（百万円）



（松浦工場 鋼材自動加工ライン）



○ハイシリカ（精製珪石粉等）部門

主力の半導体封止材用途の需要減少、光学関連の需要も鈍化に転じ、特殊ガラス関連及び海外需要の取り込みにより一部カバーするも減収

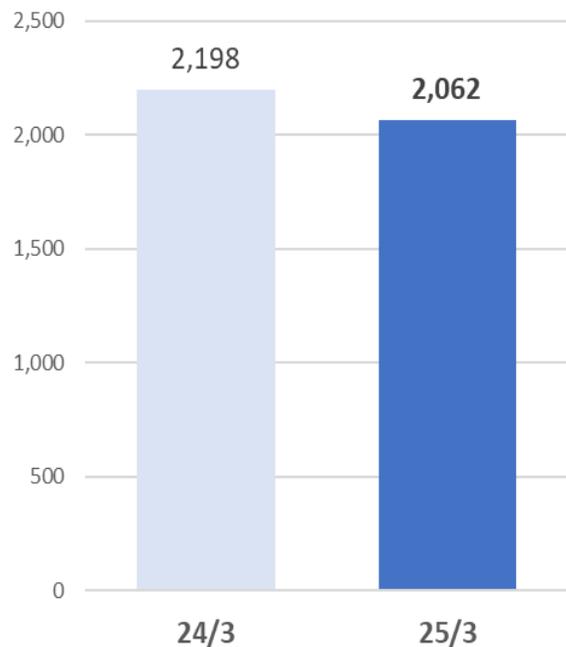
原石の品質ばらつきへの対応等による原価高止まりより採算が悪化し赤字転落
但し、下期営業利益は32百万円と上期営業損失47百万円から持ち直し

売上高 2,062百万円（前期比▲6.2%）

営業損失 15百万円（前期は137百万円の営業黒字）

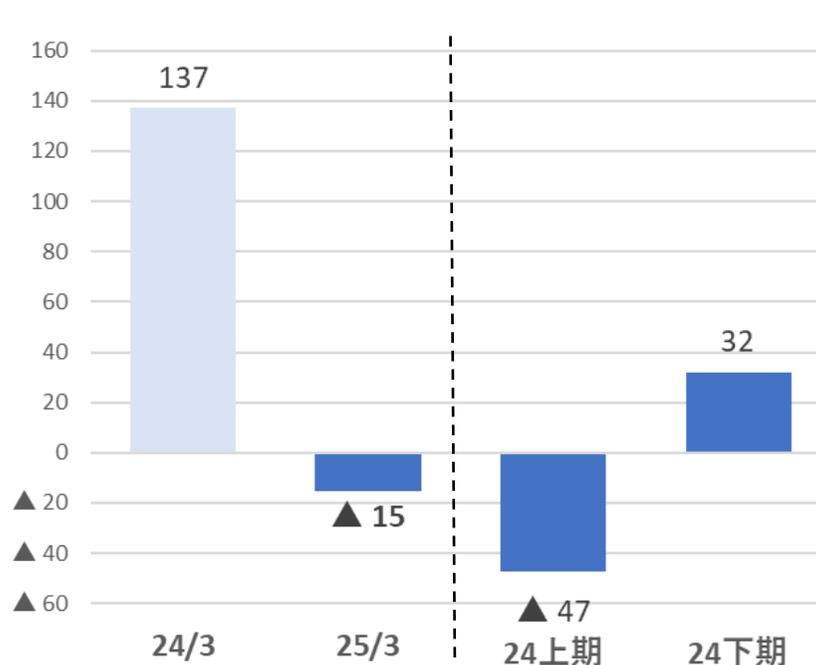
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



○鹿町工場乾燥設備
（ドライヤー）更新

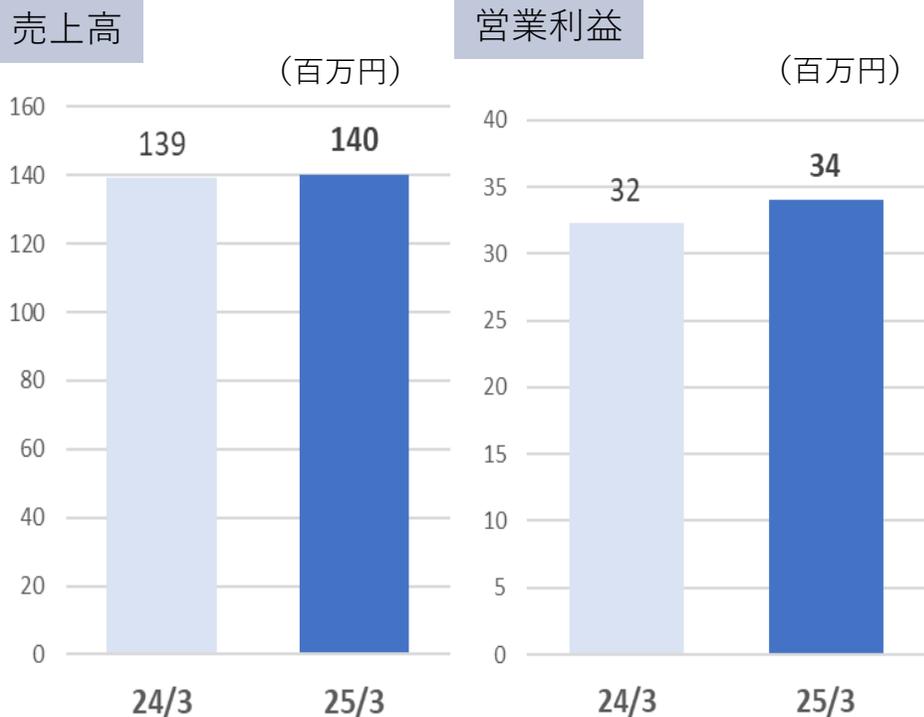


○不動産関連事業

賃貸ビルの稼働状況が順調に推移

売上高 140百万円 (前期比+0.2%)

営業利益 34百万円 (前期比+6.4%)



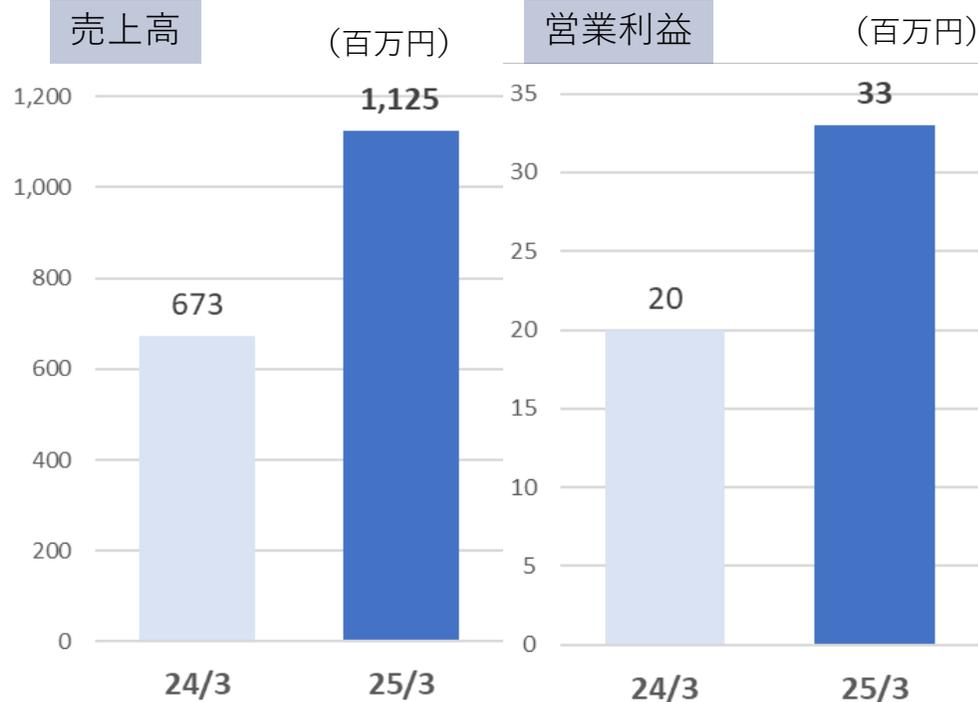
○素材関連事業

耐熱塗料部門は工業用の好調に加え、輸出も回復

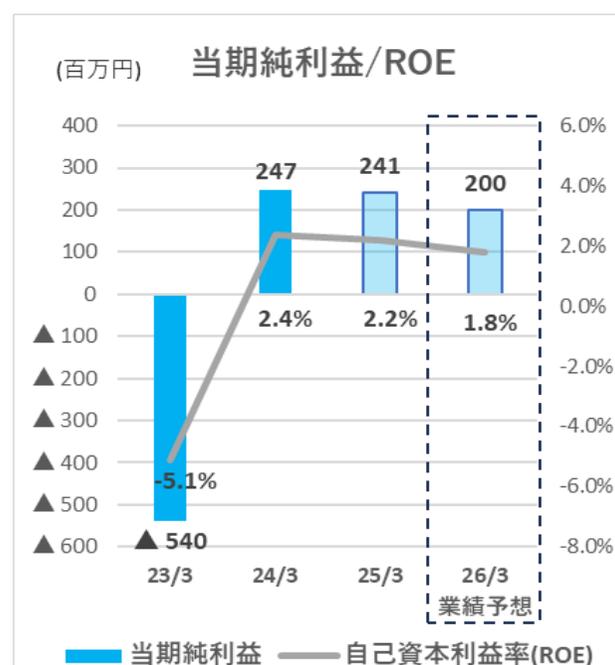
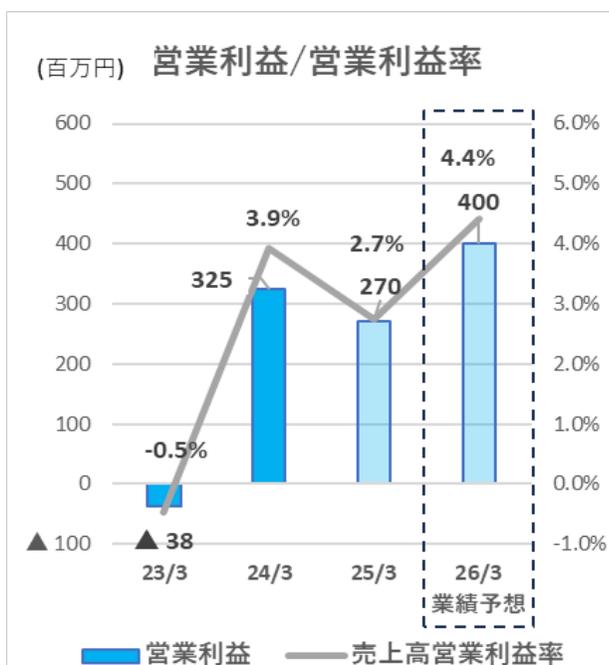
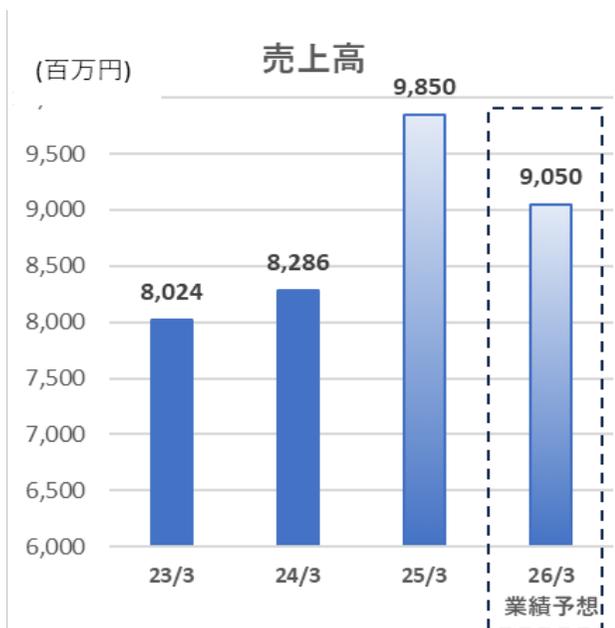
ライナテックス(高純度天然ゴム)関連部門は大型案件の売上計上により大幅増収となり利益面でも改善

売上高 1,125百万円 (前期比+67.0%)

営業利益 33百万円 (前期比+61.7%)



- 26/3期連結業績予想は売上高9,050百万円、営業利益400百万円、当期純利益は200百万円。ROE1.8%、ROIC2.6%。
- 資源関連事業(ハイシリカ部門)については、半導体封止材関連用途及び半導体関連向けガラスとも需要回復の遅れを見込む。一方、機械関連事業の船用機器部門は、既に受注を確保しているハッチカバー、船殻ブロックともに堅調に推移する見込みであり、営業利益は25/3期比+48%の増益を予想。
当期純利益は、鋼材の自動加工ライン新設に伴う損失計上及び前期の政策保有株式売却益剥落等により、25/3期比▲17%の減益見込み。



○中計「シン・ニッチツ2025」策定時と比較して、機械関連事業については、国内造船所の好調な受注環境を背景に想定通りの見込み。一方で、資源関連事業では、半導体市場の悪化かつ需要回復の鈍さより、想定を大きく下回る

(ご参考) 機械関連事業営業利益 ▲252百万円(23年3月期) ⇒ 213百万円(25年3月期)
資源関連事業営業利益 136百万円(23年3月期) ⇒ ▲15百万円(25年3月期)

○26/3期連結営業利益予想400百万円は「シン・ニッチツ2025」の当初計画(500百万円)には届かないものの、2017年度以降で最高水準

「シン・ニッチツ2025」(23年度から25年度)

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度	
					当初計画	業績予想
(単位：百万円)						
	売上高	8,024	8,286	9,850	9,700	9,050
収益性	営業利益	▲ 38	325	270	500	400
	売上高営業利益率	-0.5%	3.9%	2.7%	5.2%	4.4%
	当期純利益	▲ 540	247	241	300	200
資本効率	自己資本利益率(ROE)	-5.1%	2.4%	2.2%	3%	1.8%
	投下資本利益率(ROIC)*1	-3.0%	2.6%	1.7%	3%	2.6%
財務健全性	自己資本比率 (%)	69%	70%	70%	70%	70%

※1：ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 = (営業利益 - 法人税等) ÷ 投下資本 (有利子負債 + 純資産)

戦略 I

生産設備へ集中的に積極投資することにより、
安全性・生産性の向上を図り、現業の競争力を高める

松浦、鹿町、江迎の各工場において、積極投資を実施・検討中

○松浦工場(機械関連)

- ・ 60トジブクレーン更新
- ・ プラズマ切断機更新
- ・ 新事務所建設
- ・ 鋼材自動加工ライン新設

○鹿町工場・江迎工場(資源関連)

- ・ 受託加工業務拡大を
目的として設備投資
- ・ 環境対策設備である排ガス
処理設備(スクラバー) 更新
- ・ 高純度製品対応ジェットミル
導入計画



(60トジブクレーン)



(NCプラズマ切断機)



(スクラバー)



(鋼材自動加工ライン)

戦略Ⅱ

人財への投資（採用・育成・福利厚生制度の充実）を加速して、社員の働きがい向上と当社グループの競争力向上を目指す

1. 新事務所棟(松浦工場)



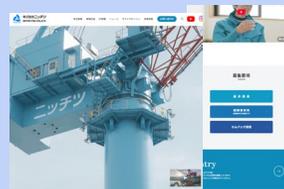
2. 当社紹介ツールの拡充

①コーポレートサイトの改修



<https://www.nitchitsu.co.jp/>

製品情報や人材ページを拡充し、より詳しい情報を発信



②Instagram、Youtubeの運用



Instagram

<https://www.instagram.com/nitchitsu/>

各拠点の社員が業務の紹介や当社のイベント、日常などを投稿



Youtube

<https://www.youtube.com/@NITCHITSU.CO.LTD>

当社の紹介、CMなどの動画を投稿

③CM制作・放映開始

採用活動と認知度向上を目的としてCM制作。2025年4月より長崎県内にて放映開始



※当社Youtube、Instagramにも掲載中

3. 採用体制の拡充および福利厚生制度の充実

- ・ 事業本部横断の人事・採用専担者を設置する等、採用体制拡充
- ・ 借上げ社宅制度・奨学金返還支援（代理返還）制度導入
- ・ 従業員持株会奨励金引上げ（奨励金率 5% ⇒ 10%）
- ・ 従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入

従業員向けエンゲージメント調査を実施。
課題の明確化及び組織状態を可視化させて、更なる改善を目指す

戦略Ⅲ

脱炭素・環境への取り組み等、新たなビジネス領域に挑戦して、
現業との両輪とする

- ・ 次世代燃料船（LNG燃料船等）、洋上風車関連及び環境対応型工事へ継続的取り組み
- ・ 船用製品（RAMP・環境対応製品）の受注拡大
- ・ 受託加工業務拡大を目的に設備投資実施

経営の透明性・監督機能の強化

①取締役会メンバーの多様性の深耕

- ・ 新任女性社外取締役候補者の選任
 - － 独立社外取締役の選任比率は30%へ



②執行役員制度の見直し

- ・ 当社は経営に関する意思決定の迅速化及び業務執行の効率化を図り、機動的な経営体制を構築することを目的に、2018年4月より執行役員制度を導入済み
- ・ 2025年6月株主総会以降、監督と執行の役割について一層の明確化を図るとともに、業務執行機能を強化するため、役付執行役員について見直し
 - － 専務取締役 ⇒ 専務執行役員、常務取締役 ⇒ 常務執行役員 etc

(2023年5月12日公表)

- ① 配当による株主還元を基本とし、配当水準の安定的向上を図る
- ② 配当性向30%（中計3年間累計）を目安とし、中期的なFCFの見通しから、配当水準を判断する
- ③ 自己株取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して検討する

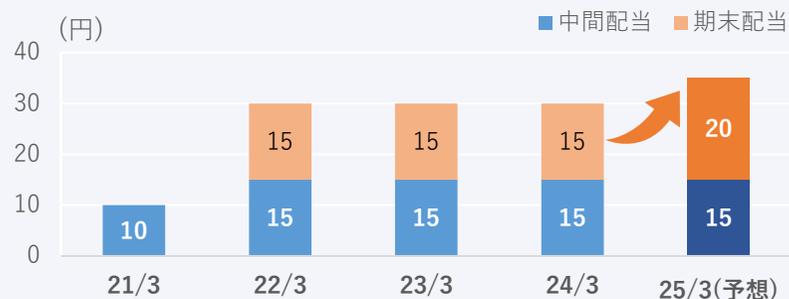
(2024年11月11日公表)

- ① 配当による株主還元と自己株取得による資本構成適正化を基本とし、株主還元水準の安定的向上を図る
- ② 総還元性向40%を目安とし、中期的なFCFの見通しから、株主還元水準を判断する
- ③ 自己株取得は投資案件や株価の状況等を総合的に勘案する

これまでの取り組み

①株主還元強化 (2024年11月公表)

	従前	今回
株主還元指標	配当性向	総還元性向
同 水準	30%	40%
配当	中間配当15円 年間配当30円	中間配当15円 年間配当35円
自社株買い	—	～ 15,000株 (2024年8月)



配当性向 30% → 総還元性向 40%

②株主優待制度の導入 (2024年11月公表)

保有株式数	優待内容
100株～	1,000円分のQUOカード



総株主数
(2025/3末)

前期末比+9.3%

③従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入 (2024年5月公表)

ニッチツ従業員持株会を通じて譲渡制限付株式を当社グループの従業員に対して付与するインセンティブ制度を導入

これまでの取り組み

④ ROE・ROIC目標設定

目標設定	現時点	
中期経営計画(2023年度～2025年度)は、 ・ 2027年度ROE 5 % (ROIC 5 %) ・ 2030年度ROE 8 % を目指すための基盤強化期間の位置付け	◆ 2023年度実績	ROE 2.4% (ROIC 2.6%)
	◆ 2024年度業績	ROE 2.2% (ROIC 1.7%)

⑤ 株式報酬制度

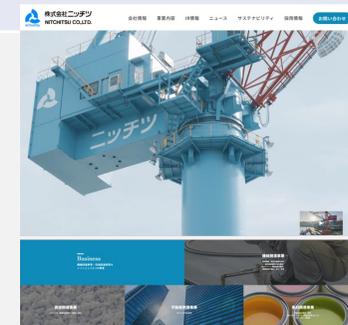
取締役等の業績向上に対する貢献意欲を一段と高めることを目的として、中期経営計画「シン・ニッチツ2025」(2023年5月12日公表済み)に掲げる業績目標に連動して給付水準が決定される

業績連動を織り込んだ 株式報酬制度 に変更 (2023年6月第98回定時株主総会決議)

⑥ 当社紹介ツールの拡充

当社の取り組みが幅広く理解されるように、情報開示を強化する

- ◆ ホームページの改修
- ◆ インスタグラムの開設



□ 参考資料



商号	株式会社ニッチツ
(英名)	NITCHITSU CO., LTD.
設立	1950年8月1日
資本金	11億円
本社	東京都港区赤坂一丁目11番30号
従業員数	連結：270名 単体：225名（2025年3月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	7021

ニッチツ企業理念

ニッチツグループは、その経営の原点を、株主はじめ、取引先各位、地域社会との「パートナーシップ」に置き、たゆみ無い向上心の発揮を通じて、高度な産業生産財を提供し、もって、社会の発展に貢献することを究極の理念とします。

沿革

- 1929年 朝鮮において朝鮮鋳業開発(株)創立
- 1940年 日窒鋳業開発(株)と商号変更
- 1951年 東京証券取引所上場
- 1953年 大阪証券取引所上場
- 1964年 子会社三扇工業(株)設立 江迎工場操業開始
- 1966年 東京熱化学工業(株)を設立
- 1970年 三扇機工(株)を設立
三扇工業(株)を吸収合併（現 機械本部）
- 1973年 松浦工場操業開始 鋳山部門分離
日窒工業(株)と商号変更
- 1983年 日窒鋳山(株)を吸収合併（資源開発本部）
- 1989年 (株)ニッチツと商号変更 資本金11億円
- 1997年 ISO9001 の認証取得（機械本部松浦工場）
- 2000年 設立50周年
- 2001年 ハイシリカ工業(株)を吸収合併
（現 ハイシリカ事業本部）
- 2003年 上場市場を東京証券取引所に一本化
- 2004年 本社事務所移転
- 2009年 ISO9001の認証取得（ハイシリカ事業本部）
- 2020年 監査等委員会設置会社に移行
- 2022年 東京証券取引所スタンダード市場に移行

幅広い産業社会の発展を見つめて。

製造業を主軸とした [4つの事業]

機械関連事業

各種プラント・船用
機器・大型機械の一
貫生産、据付・整備



資源関連事業

IT分野で活用される先
進素材「ハイシリカ」
を一貫生産・販売



素材関連事業

高機能性塗料「サーモ
ジン」、高純度天然ゴ
ム「ライナテックス」
を一貫生産・販売



不動産関連事業

オフィスビルの賃貸



長崎県松浦工場と江迎工場を拠点に、大規模な生産設備と万全の品質管理で広範な産業界のニーズにお応えします。

1

専用ふ頭・
大型クレーン

2

十分な製造ライン
とストックヤード

3

最新鋭の
大型工作機械設備

主要製品

プラント機器

電力、製鉄などを中心としたプラント用の大型機械を製造



船用機器

ブロック、ハッチカバー等の船用大型構造物を製造



エンジニアリング

空気予熱器、エレメント等を製造



施設工事

製品の各種据付 / 整備 / 改造 / 改修 / 定検工事



松浦工場

松浦工場

工場敷地面積 142,000㎡、建物面積 46,450㎡の広大な敷地内で、水切り（鋼材の陸揚げ）から鋼材の切断・加工、組立・塗装までの製品完成を社内で一貫して実現できる生産体制を取っています。

主要設備	150 トン	ジブクレーン	ベンディングロール	35トン
	100 トン	ジブクレーン	2,000 トン	プレス
	60 トン	ジブクレーン	NC 横中ぐり機	(フロア型)
	天井クレーン	30トン(屋内)	CNC 縦旋盤	(テーブル5m)
	門型クレーン	50トン(屋外)	焼鈍炉	
	NC プラズマ切断機		プラスト室	

江迎工場

江迎工場は、松浦工場の補完的な機能として、船殻ブロック形鋼加工及び（船用）ゴンドラ・歩廊等の艀装品の生産を行っています。

主要設備	工場敷地面積	84,000㎡
	建物面積	25,000㎡
	天井クレーン (屋内)	
	門型クレーン (屋外)	
	NC プラズマ切断機	
	200 トン	プレス
	塗装場	

熟練した技術士による機能と品質の実現

ISO9001 認証を取得しています。
また、ハッチカバーの製造について一般財団法人日本海事協会 (ClassNK) から、品質システムと共に同会の技術規則に従った製造技術、設備を有する事業所にのみ与えられる製造事業所承認を受けております。



高度な粉碎、分級、化学処理技術を活かし「ハイシリカ」を生産。
日々高度化するIT産業の先端ニーズにお応えします。

1

4つのプラント

2

2種類の粉碎設備
乾式/湿式

3

最新鋭機器による
品質管理

鹿町工場



工場敷地面積 18,462 m²
建物面積 6,054 m²

分析機器

ICP-MS/ICP-OES
分光光度計
イオンクロマトグラフ
粒度測定
レーザー散乱回折式
粒度分布測定装置
異物検査
マイクロスコープ

主要設備

湿式・乾式粉碎設備
浮遊選鉱設備
化学処理設備

江迎工場



工場敷地面積 6,282 m²
建物面積 800 m²

主要設備

乾式粉碎設備
分級設備

主要製品

FILLER GRADE

用途：半導体用フィラー
や特殊ガラスなど



OPTICAL GRADE

用途：HD用ガラス基板や
光学機器用各種レンズなど



HIS GRADE

用途：石英のつぼ、
石英ガラスなど



HIGH GRADE

用途：超高純度光学ガラス
やCCD カバーガラス
など



「ハイシリカ」は、珪石や水晶等を精製して得られます。
当社の積極的な技術開発による高度な精製加工技術から生み出された
純度 99.6 ~ 99.9% の高純度製品で、半導体・液晶などのIT 関連産業
の先端分野で活用されています。

マルチメディア社会を支える素材

『ハイシリカ』



高度な精製加工技術と
厳密な品質管理

ISO9001 認証を取得しています。



不動産関連事業

オフィスビルの賃貸を行っています。



建物名	御成門センタービル
所在地	東京都港区新橋 6-17-17
階数	地上 8 階、地下 1 階 店舗 (1 階) / 事務所 (2 階～ 8 階)
延床面積	2,991.31 m ² (904.87 坪)
総貸室面積	2,150.53 m ² (650.54 坪)
駐車場台数	15 台
エレベーター	常用 2 台

素材関連事業

東京熱化学工業株式会社

1966年4月設立の東京熱化学工業株式会社は、高機能性塗料の開発・製造・販売を行っています。耐熱塗料を中心に、自動車・家電・調理器具・OA機器など、身の回りの製品から製鉄・発電・石油化学などの生産設備等、工業部品から化学プラントや船舶までご使用いただける様々な塗料の供給を通じて社会に貢献しています。



耐熱塗料 (サーモジン®) とは

高機能塗料ブランド名「サーモジン®」は、鉄や非鉄金属、ガラスやカーボン、プラスチックなどに塗布して耐熱、放熱、断熱、化学反応対策 (耐酸、耐アルカリなど)、制電、絶縁など様々な使用環境から素材を保護し、高い機能性を持たせた特殊塗料です。色彩も豊富で、大型工場設備から家電・調理器具やOA機器部品、電子部品、自動車部品などに多様な機能と彩りをプラスできます。

三扇機工株式会社

1970年2月設立の三扇機工株式会社は、製缶・機械部門、ライナテックス部門の2本の柱で主に粉体を取り扱うお客様のコストダウンと安定・安全操業に貢献しています。製缶・機械部門では、一般産業用機械・鋼構造物設計製作に加え、自社開発製品である「BKホッパー」や「OMKミキサー」など各種プラント設計・製作・据付・メンテナンスまで一貫して行っています。

ライナテックス部門では、業務提携先であるライナテックス・ラバー・プロダクト社 (マレーシア) 製の耐摩耗・付着防止等に優れた特性を持つ天然ゴムシート (ライナテックス) を使用した独自のライニング施工技術、並びにライナテックスの特製を活かした応用機器の開発・製造・販売により、各種産業分野のニーズにお応えしています。

ライナテックス (高純度天然ゴム) とは

ライナテックス (高純度天然ゴム) は、マレーシアのライナテックス・ラバー・プロダクト社 (Linatex Rubber Products Bhd.) の長年にわたる独自の研究、開発の結果生み出されたもので、低温加硫した世界に類をみない極めて優れた物性を有するラバーシートで、脱炭素社会実現にも貢献しています。



本資料に関してのご注意

本資料は、特定の商品の販売やサービスの提案、勧誘、または営業活動を意図したものではありません。情報提供を目的としています。

なお、本資料は、金融商品取引法や投資信託、投資法人法令に関する法律、東京証券取引所関連の暫定規程、その他法令や規則に基づく正式な開示資料や報告書ではありません。

また、本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

お問い合わせは、
当社HP「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします
<https://www.nitchitsu.co.jp/contact/>





株式会社ニッチツ
NITCHITSU CO.,LTD.